

企業のシステム投資が徐々に動き出す 倒産や事業譲渡なども発生

株式会社ビーブレイクシステムズ

ビーブレイクシステムズが様々な現場で感じたシステム業界における現在の景気動向を、現場目線で定期的に発信します。

【システム開発全般について】

景気悪化の影響を受けてか、11月中～下旬にかけてシステム開発会社の倒産や事業譲渡などの話をいくつかお聞きしました。不況の直接的な影響による業績不振に伴う倒産や事業譲渡ばかりではありませんが、大きくとらえると景気低迷の社会的背景が潜んでいるように感じます。

システム開発に関しては、景気の不透明さからこれまでシステム投資に関する判断を先延ばししていた企業が11月中～下旬にかけてシステム投資への判断を下しはじめました。そのなかにはシステムを投資しないという判断を下す企業もありますが、この時期に積極的にシステム投資を実施するという企業も少なくありません。ただこれまでと異なることは、今までは数社のベンダーにシステム案を提出させ、その案を比較検討し費用対効果の高い案を提出したベンダーにシステムを依頼することが多かったのですが、最近では予算上限額を明確に設定した上で、この予算内で行える範囲のシステムの提案のみを検討対象にする企業が増えてきているように感じます。これも景気悪化の影響で、企業内のシステム投資に対する厳しい目があるのではないのでしょうか。

【エンジニアの需給について】

技術者に関しては、前回レポートと大きく変化はしていません。プロジェクトリーダー（PL）やシステムエンジニア（SE）の需要は引き続き堅調ですが、プログラマー（PG）の需要は低迷しています。プロジェクトの中には、案件の縮小に伴いPG（特に初級レベルのPG）を削減する状況も一部発生しているようです。また技術者の受け入れに関してすでに取引のあるシステム開発会社に限るなどの慎重な企業・現場も多く、回答を保留する期間が長くなる傾向にあります。技術者に関して他に特徴的なことは、携帯の組み込みやネットワーク系のエンジニアの需要が激減しており、スキルチェンジを図る技術者も増えているように感じます。また中国人系エンジニアについては、ここ数ヶ月程需要が低迷しているのですが、それでもこれまで特定の開発言語（特殊な開発言語）について需要は一定以上平均してあったのですが、11月中～下旬頃にはその需要さえも低迷し始めており、より厳しい状況になっています。

株式会社ビーブレイクシステムズ 会社概要

住所：〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル

設立：2002年7月

資本金：6,000万円

代表取締役：白岩次郎

事業内容：戦略的業務管理システム「MA-EYES」等のパッケージ販売や、システムの受託開発。

URL：<http://www.bbbreak.co.jp/>

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ビーブレイクシステムズ 担当：木塚、岡部

TEL：03-5487-7855 / FAX：03-5487-7855 / E-MAIL：info@bbbreak.co.jp